

MAKI-KAI
真木会だより
Est.1941

せんだんの木

病院理念

みんな仲よく
医療で奉仕誰にも親切
笑顔で応対

ホームページアドレス：http://www.makikai.jp/

『みなさまの声』

当院では以前より意見箱を設置して、皆様のご意見ご指摘をお聞きしておりました。

しかし、看護師の主任会議にて、「既存の意見箱では一部の方のご指摘やご意見だけで、本当の患者様の声が聞けないのでは？ 利用者様のすべての声を聴きましょう」という意見が出ました。

日常業務の中で自分たちの看護が患者様やご家族様にどのように受け止められているか、気づかないところで患者様に不便をかけたり、不満を感じさせてしまっていることはないか。そんな患者様・ご家族様の「生の声」をお聴きし、今後の職員の対応や施設の改善に反映させたいという看護主任たちの気持ちをきっかけにして、今年の4月より入院されたすべての患者様を対象にした退院時アンケートを開始しました。

ご協力いただいたアンケートの結果は月毎に回収・集計を行い、開始から4か月経過した8月末時点でたくさんのご意見をいただきました。ご意見に対しての回答・ご報告は「ご意見・ご要望へのお答え」として各病棟と正面玄関脇の掲示板の計4か所にどなたでもご覧いただけるよう掲示しております。

アンケートにて、いくつかの厳しい叱咤激励のお言葉をいただきました。本来、職員が気づき対応するのが当然なのですが、我々が漫然と見過ごしている点をご指摘いただけるのは本当に勉強になります。

設備や環境のご意見は総務課を中心に改善の取り組みを行い、各部署へのご意見や課題は各部門からのメンバーで構成される委員会や研修会等で改善の取り組みを行っております。

接遇面では、一人がほめられたよいことは全員が実施し、一人が悪いと指摘されたことは全員がしない、正すようにしています。設備や環境面はできること・できないことがあります。笑顔や思いやりは誰にでもできること。少しでも工夫して改善できるように取り組みたいと思っています。

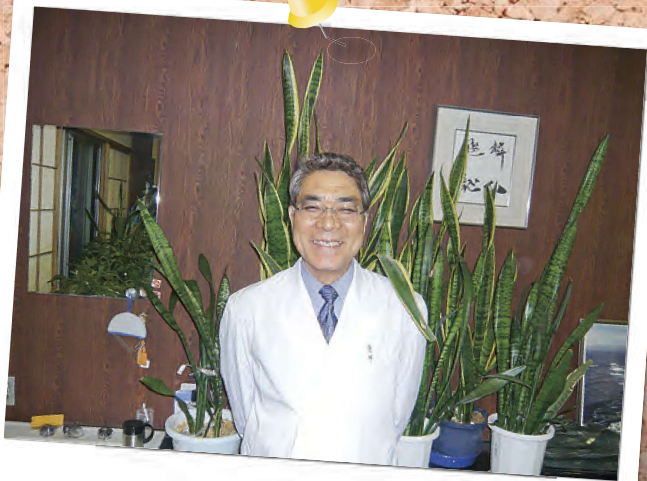
皆様の生の声を聴き、患者様・ご家族様から信頼され、満足していただける医療・看護を提供できるよう努めるとともに、地域に根差した良い病院づくりを目指して、職員一同全力を尽くしてまいりますと考えております。

看護科 主任会議一同



永遠のスーパードクター

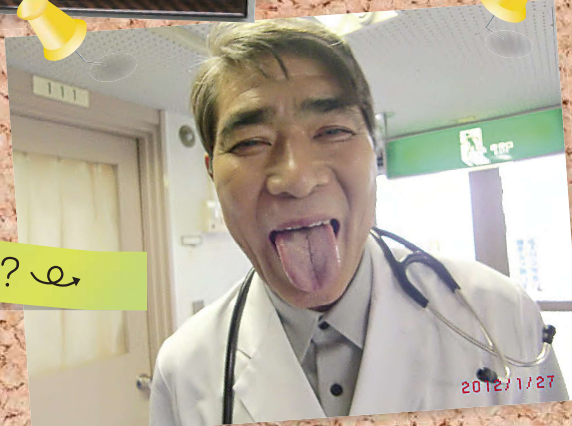
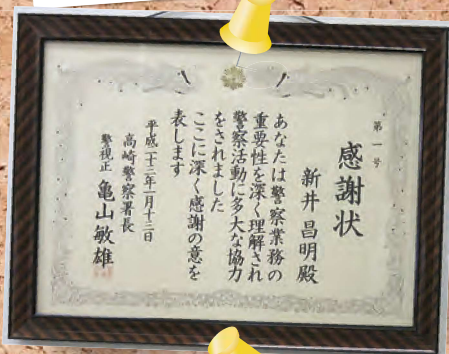
～ 新井院長先生



創刊号の「スーパードクター」より



ふれあいまつりにて



??? ㊤

2012/1/27

今年6月、私たち真木病院の職員・関係者とはとても深い悲しみに襲われました。病院の顔ともいえるべき院長先生がお亡くなりになったのです。患者さんや職員からとても慕われていた先生でしたので、ポッカリ穴が空いたようで体中の力が抜けてしまいました。亡くなってさらに存在の大きさが良くわかりました。もっとお話しがしたかった。もっともっと教えていただきたかった……残念で仕方がありません。

この「せんだんの木」の創刊号の「スーパードクター」が院長先生で、私がその記事を担当しました。そして今回、この記事も担当させていただけることになりご縁を感じています。病院内の委員会でも一緒でしたので何かとお世話になりました。あの東日本大震災の時は病室で患者さんの処置中で手が離せなく、「かなり揺れているね～」とお互いの不安を落ち着かせたものでした。

晩年、体調を崩されてからは4階病棟で静養されていました。日中は病室から出ないのですが、夜になるとひょっこりナースセンターに現れ夜勤者の私たちと短い談笑を楽しみました。ある晩、準夜帯から深夜帯に替わる時に、他の病棟の職員



成人式を迎えた職員は、新井先生に晴れ姿を見ていただきました。ちなみに筆者は一番右です。

パードクター

先生へ捧ぐ ～

看護科 長井 美智子

も来てナースセンター内の人数が増えた時があり「にぎやかでいいね～昼間みたいだ、人がいるっていいね」とニコニコしていたのがとても印象的でした。

それからわずか数日後、帰らぬ人となりました。以前から休養しては復帰を繰り返していたので、きっと今回も……と誰もが期待していました。

長い間、病気と闘い弱音を吐かず、誰よりも患者さんの気持ちを良く理解され、つらい時も笑顔を絶やさなかった先生。本当に残念で仕方がありません。

でも不思議なのです。病院が、仕事が大好きな先生でしたので、今も一緒に働いている気がするのです。「常に患者さんのそばに寄り添う」この姿勢をいつも見てきたので自然にこう思えるのでしょう。先生のこの意志を受け継ぎ、これからは新院長・真木武志のもとで、力を合わせ頑張っていきます。温かく見守っていて下さいね。院長先生ありがとうございました。

心をこめて感謝致します。

合 掌



新井 昌明 前院長

◆ 略 歴 ◆

- 昭和20年 群馬県伊勢崎市生まれ
- 昭和46年 群馬大学医学部 卒業
群馬大学医学部附属病院
第一外科 医員
- 昭和47年 東京大学医学部病理学教室 入局
東京大学医学部附属病院
中央検査部 研修医
- 昭和48年 東京大学医学部附属病院分院 助手
- 昭和49年 済生会前橋病院
- 昭和50年 群馬大学医学部附属病院 医員
- 昭和51年 群馬大学医学部附属病院 助手
- 昭和52年 原町赤十字病院 検査部長
- 昭和53年 原町赤十字病院 外科部長
- 昭和55年 群馬大学医学部附属病院
第一外科 助手
- 昭和59年 原町赤十字病院 副院長
- 平成 6年 真木病院 院長



数多くの職員の新しいスタートに
立ち会っていただきました。

高崎PET総合画像診断センター診療案内

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	外科・消化器科	真木	藤田	小高 真木	藤田	真木	有沢 (1・3・5) 志村 (2・4)
	内 科	永尾	小林	笠原	小林	永尾	斉藤
	整 形 外 科	篠崎	おかむら 岡郷 (群大)			篠崎	篠崎 (4) 群大 (1・2・3・5)
	専 門 外 来	松井 (泌尿器科)		和田 (内視鏡) 安部 (糖尿病)	岸 (ピロリ菌) 須山 (肝臓) 安部 (糖尿病)		真木 (禁煙) 和田 (内視鏡 2・4)
	胃 内 視 鏡	和田 岸 (群大) 和田・岸 (精密)	群大	岸 三浦 (自治医大) 岸・三浦 (精密)	和田 (1・3・5) 岸 中島 (2・4) 和田 (精密)	和田 岸 群大 和田・岸 (精密)	自治医大
午後	外科・消化器科	加藤 (群大)	鈴木 (群大)	群大	真木	藤田	
	内 科		永尾	安部		小林	
	整 形 外 科	越 (群大)			篠崎		
	専 門 外 来	山崎 (2・4) (もの忘れ)		高崎総合医療センター (循環器)	藤井 (乳腺)		
	大腸内視鏡	藤田 岸 岸 (精密)		和田 岸 三浦 (自治医大) 和田・岸 (精密)	和田 岸 中島 (2・4) 和田・岸 (精密)	和田 和田 (精密)	

※ 赤字は予約制です。

※ 午前の受付時間は11:30まで、午後の受付時間は17:00までです。

スポットライト

健康のために気をつけていることや、元気の秘訣
など、皆さんのイキイキ増進法を紹介します。

「健康診断」

小川東邦株式会社 神 宮 幸 彦 さん

就職して初めての健康診断で血圧が高くて、「いつもこんなに高いの?」、「家族に血圧の高い人はいますか?」と聴かれた。いままで血圧なんて定期的に測ったことはないし、たまたま高かっただけじゃないのと、その時は気楽な気持ちでいた。しかし、その後も健康診断の度、血圧が高いのを指摘された。えー!20歳代から血圧の薬を飲むのか〜

家族の中では母親の血圧が高い、ただ、血圧を下げる薬を飲み始めたのは確か50歳を過ぎてからだったと思う。

33歳になった時、とうとう諦めて本格的な治療を始めた。2週間に1度受診し、血圧を測ってもらい、降圧剤を飲み、半年に1回血液検査を行った。

40歳になるころ、今度は総コレステロール値が急に100mg/dl以上増えた。運動量も食事も前年と変わらないのに。徹底して食事に気を付けてみたが、半年後、1年後の検査でさらに増えていたので、これもまた薬の世話になることにした。

しかし、なんで急に100mg/dl以上も増えたんだろう?まさかと思い母親の飲んでる薬を覗いてみたら、コレステロールを下げる薬が入っていた。

その母親も脳梗塞がもとで寝たきりになり、今年亡くなった。

そろそろ脳ドックを受けようかな?



発 行：医療法人 真木会 真 木 武 志

編集：真木会広報委員会

広報委員：青 木 和 俊 飯 塚 隆 浩 今 井 望 美
佐 藤 枝 里 曽 根 麻 希 子 田 村 康 伸

蟹谷サユリ 金 子 泉 川 島 清 江 斉 田 恵
長井美智子 浜 名 東 吉 田 美 和 子 綿 貫 愛

高崎PET総合画像診断センター

Tel.027-370-3011 Tel.027-363-8558 (人間ドック・健康診断)
〒370-0801群馬県高崎市上並榎町187



医療法人 真木会 真木病院

Tel.027-361-8411
〒370-0075群馬県高崎市筑縄町71-1